放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 JSS水夢八尾

公 表 日 2020年4月30日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0				
境・体制整	2	職員の配置数は適切である	0				
備	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			0	・身体の使い方等の経験のため、階段を設置している。	・バリアフリー化の面では階段について課題があるかもしれないが、必要に応じて活動場所の変更等も検討していく。
		業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		0		・設定された目標や振り返りの内容をミーティング等で共有している。	・全指導員が参画することまでは行えていない。・振り返りを全体で行うミーティングを実施する。
		保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護 者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	0			・アンケート実施し、結果から改善策を検討する時間を設けている。	
業務改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0			・外部からの講師等の助言を得ている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	0			・年に数回外部講師による研修を実施。	

	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析 した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	0		・利用児や保護者に対するアセスメントを複数の指導員で行い、情報共有しながら複数の指導員で一緒に作成している。	
		子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツー ルを使用している	0		・発達検査や知能検査の実施や結果を用いている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	0			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	0		・学習、制作、運動、ソーシャルスキル等様々な活動を取り入れている	
適切	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		0		・2019年度は、放課後等デイサービスの利用は土曜日のみと設定していたが、2020年度より平日等の受け入れを実施し、日々の課題を設定している。
な支援の	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後 等デイサービス計画を作成している	0		・個別で取り組んだことを集団で活かせるよう、支援計画を作成している。	
提供		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や 役割分担について確認している	0		・開始前のミーティングでその日の活動内容の共有を行うようにしている。	・開始前のミーティングでその日の活動内容だけでなく、前回利用の際に あったことや継続して見ておく事等をより丁寧に情報共有していきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り 返りを行い、気付いた点等を共有している	0			・共有事項が出勤でないスタッフにも連絡漏れがないよう、ミーティング内容を記録に残し、スタッフがいつでも確認できるうような体制づくりを改めて行っている。
	1 /	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ なげている	0			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要 性を判断している	0		・利用児に合わせた時期で定期的にモニタリングを行い、複数の指導員で 計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	0			_

	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通 した最もふさわしい者が参画している		0			・サービス担当者会議が他の事業所と行われていないが、当事業所の指導 員間での話し合いは行っており、サービス担当者会議が実施される場合は ふさわしい者が参加するようにしたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている				・送迎は行っていないため、学校との日々についての情報共有は行ていないが、利用児が通う小学校への連携を行い、学校との利用児に対する情報 共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			0		・今までに対象の利用児がないが、必要に応じて連絡体制を作りたい。
関係	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		0		・児童発達支援事業から引き続き当事業所を利用していただいているので、指導員間での情報共有している。	・今後外部からの受け入れする利用児については必要に応じて通っていた 園や事業所との情報共有を行いたい。
機関や保	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業 所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等してい る			0		・今までに対象の利用児がいないが、今後移行する利用児がいる場合は 必要に応じて行いたい。
護者との連	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携 し、助言や研修を受けている	0				
携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機 会がある			0		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			0		・実施があれば参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題に ついて共通理解を持っている	0			・送迎時に保護者との情報共有の時間を設けており、その中で共通理解を持てるようにしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			0		・ペアトレという形式まで取れていないが、個別相談を随時受けて、保護者の対応力向上を図ろうと努めている。

	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	0			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と 支援を行っている	0		・お迎えの時間や個別相談等で相談に応じられるように心がけている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者 同士の連携を支援している	0			・年に数回実施しているが、今年度は回数が少なかった。来年度は回数や 内容を検討し直し、開催したい。
保護者への	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子ど もや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	0		・ミーティング等で指導員全員に情報共有を行い、対応している。	
説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を 子どもや保護者に対して発信している	0		・定期的にお便り配布を行っている	
	35	個人情報に十分注意している	0			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	0		・言葉だけでなく視覚情報等、活用できる様々な手段を検討して用いるようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っ ている		0		・地域住民を招待するような行事は行えていないため、今後検討したい。

	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、 職員や保護者に周知している	0		・年1回指導員研修で行っている。 ・保護者には契約時に伝えている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行って いる	0			
非常時等	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をして いる		0		・ミーティング等で話はしているが、研修までは行えていないため、今後の研修に組み込むよう検討したい。
ずの対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、 子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイ サービス計画に記載している		0		・今まで対象の利用児がいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0		・事故等が起こった場合迅速に作成し、共有している	